

平成22年度局配分枠予算について

保健福祉局

1 局配分枠予算編成に当たっての考え方

保健福祉局では、「政策推進プラン」の政策の柱の一つである「いのち」を大切にすることに徹底的にこだわり、政策の「融合」と市民との「共汗」を踏まえ、「市民一人ひとりが安心と安全、生きがいを実感できる社会」を実現するため、平成22年度予算編成に当たり、6つの重点方針を定めました。

局配分枠（義務費等枠、局裁量枠）予算については、国制度改正により義務的に実施すべき事業のほか、京都府の基金等の活用が見込めるなど、比較的少ない負担で実施可能な事業を厳選し、局配分枠予算における新規・充実事業としました。

- ① 「いのち」
かけがえのない「いのち」、あらゆる「いのち」を大切にする
- ② 「はぐくみ」
未来からの大切な贈り物である子どもたちをしっかりと育成する
- ③ 「自立支援」
個人の尊厳を保持・回復し、あらゆる世代で「生きがい」が実感できる社会をつくる
- ④ 「安心・安全」
生涯にわたる安心で安全な生活を提供する
- ⑤ 「保健福祉のまちづくり」
「市民力」を活かし、市民参加と共汗で「保健福祉のまちづくり」を推進する
- ⑥ 「最適な市民サービスの提供」
施策・事業の優先度、公民の役割分担や適正な利用者負担のあり方を徹底的に検証し、最適な市民サービスを提供する

2 局配分枠予算における主な新規・充実事業

<新規事業>

子ども手当	24,279,070 千円
幼児二人同乗用自転車貸出事業	42,000 千円
子育て用品・子ども用品「譲ります！もらいます！」	1,000 千円

低所得の障害者に係る障害福祉サービスの無料化	244,508 千円
障害者相談員制度	8,860 千円
生活保護就労意欲喚起等支援事業	47,360 千円
後期高齢者医療被保険者人間ドック受診費用助成	38,000 千円
親子すこやか発達教室	3,558 千円
新高校生奨学金（仮称）	428,071 千円

<充実事業>

児童扶養手当（父子家庭へ対象を拡大）	全体事業費 6,593,028 千円（うち充実分 83,000 千円）
障害者就労支援推進事業	
障害者職場実習・チャレンジ雇用推進事業	全体事業費 5,487 千円（うち充実分 2,787 千円）
命の大切さと生きる勇気・力を取り戻すための支援の充実	
緊急自殺防止対策	全体事業費 38,737 千円（うち充実分 35,000 千円）
老人福祉員の増員	
	全体事業費 6,347 千円（うち充実分 692 千円）
	※介護保険事業特別会計では全体事業費 31,734 千円 （うち充実分 3,460 千円）
育児支援家庭訪問事業（育児支援ヘルパー派遣事業）	全体事業費 19,475 千円（うち充実分 10,012 千円）
新型インフルエンザ対策	
	全体事業費 24,000 千円（うち充実分 16,000 千円）
	※雇用対策事業特別会計 14,000 千円含む
結核対策（VNTTR検査・ホームレス対策）	全体事業費 73,350 千円（うち充実分 1,162 千円）